令和八年度「へきなん市民俳句大会」は　碧南の俳句文化の継承と発展を目指し、俳句経験の有無を問わず広く市民の方々に関心を持っていただく機会を作るために開催いたしました。

御投句いただきました中には　複数の季語が入っている句や、季語のない句もございましたがどの句からも作者の思いや気持ちが伝わって来る力作でした。会場にて御投票いただきました皆さまも含め　多くの方に御参加いただきましたこと、主催者一同心より感謝申し上げます。

今後とも当大会の趣旨をご理解頂き、御支援・御協力を宜しくお願い申し上げます。

碧南文協俳句部

投句数　および、文化祭来場者の方による投票人数は左記の通りです。

投句数　　一四七　句

投票人数　　二四五　人

● 文協俳句部員による投票結果

一席

今朝の秋始発電車に客二人

二席

みの虫の蓑に流行なかりけり

保護犬の無垢なまなざし秋の空

立像も横になりたき残暑かな

三席

いわし雲夕陽に焼けてしまひさう

彼岸花燃えて焔のなかりけり

秋高しかぞく総出の庭仕事

赤い羽根町内会の茶封筒

● 来場者の方々による投票結果

一席

秋晴れや碧南ビーチ沸くアジア

二席

ダイエット食欲の秋うらめしや

三席

秋刀魚焼く貴重な匂ひ隣家より

四席

細秋刀魚日本経済そのまんま

保護犬の無垢なまなざし秋の空

五席

移りゆく風の匂いと虫の声

下校時柿を数える子らの声

六席

クーポンで新米ゲットわっくわく

七席

天災がくるたび思う人の暖

老いた母梨に歯形が残りおり

ラ・フランス優雅に一人午後の家